歯科材料 03　義歯床材料
管理医療機器　歯科レジン系補綴物表面滑沢硬化材　70826000

コートライナー

【禁忌・禁止】
メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマー又は有機溶媒に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】
本材は、下記成分より構成される。

性状	成分
液状	酢酸エチル、その他

付属品：ｵｷｼﾊﾞﾘｱｰ、ﾌﾞﾗｼ

【使用目的又は効果】
光重合型で、義歯床とアクリル系床裏装材(コンフォートナー亀水化学製)の接着性改善、及びアクリル系軟質裏装材表面の艶出しに用いる。

【使用方法等】
接着材としての使用方法
① 裏装する義歯床の辺縁及び粘膜面をカーバイドバー等で一層削り、新生面を出して、洗浄後よく乾燥させます。
② 裏装面全体（特に床辺縁部）に本材を均一に塗布します。
③ 本材塗布後は、できるだけ間をおかずにアクリル系の軟質裏装材(コンフォートナー)を粘膜面に一層盛り上げます。

表面滑沢材としての使用方法
① アクリル系軟質裏装材(コンフォートナー)の硬化後、余剰部分をデザインナイフやポイント等で削り、形態修正します。
② 裏装材表面を洗浄後、よく乾燥させます。
③ 辺縁部切削面、及び裏装粘膜面全体に本材を塗布し、２～３分間自然乾燥させるか、又はエアーシリンジで乾燥させて表面のべたつきをなくします。
④ 次に、付属の使い捨てブラシを用いてオキシバリアーを塗布します。なお、使い捨てブラシは１回限りの使用で、再使用はできません。
⑤ 直ちに市販の技工用光重合器で光照射して硬化させます。なお、硬化に要する照射時間は、ご使用の光重合器の取扱説明書によりあらかじめご確認ください。
⑥ 水洗してオキシバリアーを除去します。

[使用方法に関連する使用上の注意]
本材は、使用後はすみやかに密栓し、冷暗所に保管すること。

【使用上の注意】
1) 重要な基本的注意
① 本材の使用により、発疹、湿疹、発赤、腫瘍、腫脹、かゆみ、かぶれ、しびれ等の過敏症状が現れた患者又は術者においては、直ちに使用を中止し、専門医の診断を受けさせるか、又は受けること。
② 本材が患者の目、皮膚又は衣類に付着しないような措置を講じること。また、適用部位以外の口腔粘膜にはなるべく付着させないこと。
③ 本材が万一目に入った場合には、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせるか、又は受けること。
④ 口腔内作業完了後は、直ちに口腔内を十分洗浄する（十分に洗口させる）こと。また、皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸を使用し流水で十分洗浄すること。衣類に付着した場合には、直ちにアルコール（綿球）で十分拭き取ること。

2) 不具合・有害事象
本材の使用に伴い、発赤、びらん、水疱、浮腫などの過敏症状が発生することがあります。

3) その他の注意
① 本材を使用する際には、適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。
② 本材は可燃性なので、火気の近くで使用したり、火気の近くに置いたりしないこと。
③ 本材は一部のプラスチック、ビニール等を溶かすので注意すること。
④ 塗布した表面を、歯ブラシ等で強くこすらないこと。
⑤ 手持ちの容器に必要量のみ小分けし、塗布したブラシは単回使用とすること。
⑥ 本材を使用する際には、必ず医療用（歯科用）手袋及び保護めがねなどを着用し、目、皮膚又は衣類に付着しないよう十分注意すること。なお、医療用（歯科用）手袋は、本材の直接的接触を防ぐが、一部の有機溶媒、モノマーが短時間のうちに浸透することが知られているので、本材が付着した場合には、直ちに手袋を捨て、石鹸を使用し流水で手を十分洗浄すること。

【保管方法及び有効期間等】
[保管方法]
・本材は、火気、高温、多湿又は直射日光を避けて「0～23℃」暗所で保管すること。
・同一保管場所に大量に保管しないこと。また、使用及び保管場所には、消火器を備えること。
・本材は揮発性が高いので、蓋を確実に締めて保管すること。

[有効期間]
本材は包装に記載の※使用期限までに使用すること。
[記載の使用期限は自己認証（当社データ）による。]
※（例 Exp.'□□.○○ は使用期限２０□□年○○月を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売元　亀水化学工業株式会社
電話番号　（フリーダイヤル）0120-267-720
製造元　亀水化学工業株式会社

取扱説明書等を必ずご参照ください。